

立教大学図書館展示

RAMPO IN THE MEDIA

～「旧江戸川乱歩邸」リニューアル開館記念～

立教大学図書館では、江戸川乱歩記念大衆文化研究センターとの共催により、両機関が所蔵する資料の中から様々なメディアに展開されてきた江戸川乱歩作品にまつわる資料を展示します。

昭和期に人気を博した乱歩の探偵小説は、ラジオドラマや映画・舞台でも作品がアダプテーションされました。今回の展示では、各種メディアの枠を超えて広がった乱歩作品の脚本・台本と映画のポスターや漫画作品とともに、江戸川乱歩の生涯の一端に触れる資料をご覧ください。

「旧江戸川乱歩邸」で作品を執筆した乱歩の姿に思いを巡らせながら、乱歩作品が人々に受け入れられた背景やその謎を読み解く機会となることを願います。

ぜひ、ご鑑賞ください。

江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

立教大学図書館

RAMPO IN THE MEDIA (キャプション一覧・展示品リスト)

江戸川乱歩は、大正期から昭和期にかけて活躍した作家です。その人気は根強く、現在でも多くのファンを有しています。本企画は、そんな「乱歩」が生前～没後をとおして小説以外のメディアとどのような接点をもってきたかを、舞台・ラジオ・映画という3つのメディアを中心に考えていきます。刻々とひろがっていく「乱歩」の世界へ分け入るはじめの一歩として、お楽しみいただけますと幸いです。

1 乱歩と演劇

学生時代、歌舞伎に熱中した乱歩は、自身も芝居をやってみたいという気持ちを持っていました。1926年にはじめて文士劇に出演し芝居稽古の楽しさを知った乱歩は、戦後も複数の舞台に出演しています。展示している台本は、いずれも乱歩が出演した際、実際に使用したものです。書き込みからは、稽古に打ち込む乱歩の姿が生き生きと伝わってきます。

2 乱歩とラジオドラマ

1950年ごろから、乱歩作品はくり返しラジオドラマの原作・原案に選ばれてきました。なかでも人気を博した少年探偵団シリーズでは、最終回に乱歩自身が「大久保彦一」という役でゲスト出演しています。一緒に展示した乱歩所蔵の「奇術の種」からは、作品にちりばめられた手品やトリックのヒントを見て取ることができるでしょう。

3 乱歩作品の映画化

戦後ミステリブームのなかで数多くの映画を生み出した乱歩作品ですが、戦前に映像化されたのは「一寸法師」のみでした。展示は、戦後、3度目に映画化された際のポスターです。少年探偵団シリーズは映画でも人気があり、1956年から立て続けに6作品が公開されました。ポスター裏面からは、当時の宣伝方法も、うかがい知ることができます。

4 メディアを跨ぐ乱歩

小説から舞台、映画、ラジオへとメディアを跨いで展開された作品のひとつが「黒蜥蜴」です。メディアの変化に伴いさまざまな解釈を受け容れてきた「黒蜥蜴」は、1934年の小説発表から現在に至るまで、作品世界を拡張し続けているといえるでしょう。小説と映画、ラジオドラマの台本を見比べることで、そのひろがりを感じてみてください。

5 「乱歩」というモチーフ

近年では、その作品のみならず、「乱歩」そのものがひとつのモチーフとして機能しています。漫画作品は、そのよい例です。これは、「探偵小説作家」としての乱歩のイメージがひろく人びとに共有されているからに他なりません。モチーフとして変奏されることで「乱歩」のイメージは更新され、乱歩作品はさらに多くの読者や解釈を獲得していくのです。

6 乱歩を研究する

乱歩作品はデビュー当初から、さまざまな批評にさらされてきました。橋爪健の「江戸川乱歩論」などは、その最もはやり例のひとつでしょう。ここでは、近年の乱歩を取り巻く研究の一端を担う書籍を展示しています。分析の対象となる作品も、その評価も多岐に及びます。没後60年を経てもなお、乱歩作品は人びとの関心を惹きつけてやみません。

7 撮影風景の記録

記録魔として知られた乱歩は、自身に取り上げられた記事を「貼雑年譜」に保管していました。その意識は、映画に対しても発揮されていたようです。ここでは、乱歩が自らのホームカメラで記録した「妖怪博士」（1956年公開）、「鉄塔の怪人」（1957年公開）の撮影風景を紹介しています。「鉄塔の怪人」本編は白黒映像ですので、カラー映像は貴重な資料です。

開催期間 2025年5月12日（月）～6月12日（木）

場所 立教大学池袋図書館 地下1階展示コーナー

江戸川乱歩記念大衆文化研究センター・立教大学図書館共催
旧江戸川乱歩邸リニューアル開館記念企画

展示品リスト

キャプションNo.	展示品名称	出版年等
キャプション1	鈴ヶ森 題目塚の場	1951年11月17日、新橋演舞場
	謎文東海道士産	1952年12月11日、浅草花月劇場
	『別冊 宝石』第6巻1号	1953年1月
キャプション2	連続放送劇少年探偵団 少年探偵1～5	1956年4月16～20日、ニッポン放送
	連続放送劇少年探偵団 埋もれた宝石	1957年12月30、31日、ニッポン放送
	奇術の種 乱歩直筆メモ	1936年1月10日
	奇術の種	1936年頃
キャプション3	一寸法師 映画ポスター	1955年
	二十面相の悪魔 映画ポスター	1956年
キャプション4	江戸川乱歩『黒蜥蜴・妖虫』	新潮社、1934年
	黒蜥蜴（三島由紀夫脚本・美輪明宏主演）	1993年4月1～18日、東京芸術劇場
	黒蜥蜴（大映）	1962年3月封切
	黒蜥蜴12（NHKラジオ）	1976年1月17日放送
キャプション5	青山剛昌『名探偵コナン(1)』	小学館、1994年6月
	青山剛昌『名探偵コナン(107)』	小学館、2025年4月
	春河35・朝霧カフカ『文豪ストレイドッグス(1)』	KADOKAWA、2013年4月
	春河35・朝霧カフカ『文豪ストレイドッグス(5)』	KADOKAWA、2014年8月
	春河35・朝霧カフカ『文豪ストレイドッグス(26)』	KADOKAWA、2025年2月
キャプション6	平井隆太郎『うつし世の乱歩父・江戸川乱歩の憶い出』	河出書房、2006年6月
	石川巧・落合教幸・金子明雄・川崎賢子編 『乱歩新世紀 越境する探偵小説』	ひつじ書房、2019年2月
	後藤隆基『乱歩を探して』	学校法人立教学院、2024年3月
	『大衆文化』創刊号	2009年4月
	『大衆文化』第32号	2025年3月
	後藤隆基編『台本調査報告書』	立教大学江戸川乱歩記念大衆文化 研究センター、2025年3月
キャプション7	妖怪博士・鉄塔の怪人 東映撮影所	1955年頃撮影
ピクチャーレール	劇場版名探偵コナン100万ドルの五稜星ポスター	2024年4月封切
	黒蜥蜴（美輪明宏主演）ポスター	1993年4月1～18日、東京芸術劇場
	江戸宵闇妖鉤爪一明智小五郎と人間豹 市川染五郎・松本幸四郎出演②ポスター	2008年11月3～26日、国立劇場大 劇場
ローテーブル	江戸川乱歩『貼雑年譜』	東京創元社、2001年3月
	後藤隆基編『台本調査報告書』	立教大学江戸川乱歩記念大衆文化 研究センター、2025年3月